

12月 ちびっこ落語の学校

令和5年12月5日

椎葉村立
不土野小学校



ふれあい参観で地域の方々と交流(11/8)

保護者と地域の方をお招きして実施しました。第1部は、全員で落語の小咄を披露しました。第2部はふれあい活動でした。ガチャガチャ(くじ)、魚釣りゲーム、ジェスチャーゲームの3コーナーに分かれて楽しんでいただきました。第3部は、質問コーナーです。不土野の生活や歴史・文化、お仕事等について質問し、ひとつひとつ丁寧に教えていただきました。いろいろなお話を聞くことができ勉強になりました。参加して下さいました地域の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。



今年のイチョウアートは「辰」(11/15)

毎年恒例のイチョウアートをを行いました。来年の干支は辰(たつ)ということで、龍の絵を作りました。今回も5・6年生が原案を考え、下絵を算数の「拡大と縮小」の学習を生かして描きました。

当日は、みんなで落ち葉を運んで作りました。黄色い部分がイチョウ、その他の部分は紅葉の落ち葉を使っています。落ち葉が風に飛ばされないように素早く作りました。龍のように空高く、ぐんぐんと伸びていくような1年になることを祈っています。皆様にとって、令和6年(2024年)がよい年でありますように。

完成後は、先日収穫したサツマイモを焼き芋にして食べました。ホクホクしていてとてもおいしかったです。この日、ドローンを貸して下さいました椎葉林業様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



【ドローンを使って記念撮影!】



12月

12~1月の不土野小の予定

1月

月	火	水	木	金	土	日
12月11日 抱っこの宿題週間 (~17日)	12日	13日	14日	15日 地区忘年会	16日	17日
12月18日	19日 ワックスがけ 救給力レーの提供	20日	21日	22日 終業式 子ども絵クリスマス会	23日 冬季休業(~1/8)	24日
12月25日 冬季休業	26日 冬季休業	27日 冬季休業	28日 冬季休業	29日 学校閉庁日	30日	31日
1月1日 元日	2日 学校閉庁日	3日 学校閉庁日	4日 冬季休業 村成人式	5日 冬季休業	6日	7日
1月8日 成人の日 市町村駅伝大会	9日 3学期始業式	10日	11日 クラブ	12日 中学校入学説明会	13日	14日 とびがち大会 もぐらうち
1月15日	16日	17日 避難訓練(火災)	18日	19日 CRT学力調査 (国・算)	20日	21日

※ この通信を作成した段階の予定です。感染症対策やその他の理由で、変更になる場合があります。

~裏面にも記事があります~

やまびこ発表会(11/11)

11月11日(土)～12(日)にかけて、4年ぶりに「椎葉平家まつり」が開催されました。その1日目に「やまびこ発表会」が行われました。各地区の子ども会から子どもたちの元気いっぱいの発表がありました。不土野小学校の子どもたちは、これまで取り組んできた「落語」の「小咄」を披露しました。大勢のお客さん達が見ている中、緊張していたようですが、あの大舞台上で堂々と発表することができていました。さらに自信が付いたことでしょう。

「椎葉平家まつり」も県内外から多くの方が見に来られていて、とてもよかったですね。



栽培活動(11/9)

6月に続いて、学校用務の佐和子先生が育ててくれた花の苗を移植する活動を行いました。寒い冬を乗り越えた後の来春には美しい花を咲かせ、学校中や卒業式会場を飾ってくれることでしょう。児童の皆さん、お世話を頑張りましょうね。



土木の日(11/20)

現在河川工事を行っている内山建設の方から、工事に関するお話や重機に載せていただく体験活動を行っていただきました。子どもたちにとって貴重な体験になりとても喜んでいました。ありがとうございました。



村へき地教育研究大会(11/17)

本校にて、村内の全小・中学校の先生方が集まって研究大会が行われました。椎葉村の教育施策の一つである「椎葉村ユニット学習」の授業を行い意見交換をしました。

「椎葉村ユニット学習」とは、村内の学校をタブレットPCでつないで学習する形態のことです。椎葉村は県内でもトップクラスと言えるICT教育の環境が整っていて、「複式指導の部分的改善」「同学年の児童を増やすことによる多様な考え方の共有」「教師によるきめ細かな個人指導」を主なねらいとして取り組んでいます。本研究大会で様々な意見交流ができました。椎葉村の児童にとってより充実したものになるよう、これからも取り組んでいきます。



村PTA・家庭教育学級合同研究大会(11/18)



4年ぶりに参集した形で、多くの保護者や関係者の方に参加していただき開発センターで開催されました。フリーアナウンサーの横山由美様の講演や松尾小と椎葉中の実践発表、これまでの活動に功績のあった方の表彰が行われました。

横山由美様の講演は、「子育てがもっとラクになる！～やる気を引き出すコミュニケーション～」という演題のもと、ご自身の経験をふまえたお話でとても参考になる内容でした。

子どものやる気を引き出すためのコミュニケーションの在り方として、

- 「子どもの感情をそのまま受け入れる『映し返し』」
- 「感情のコントロールをした『叱る』 (感情のまま言う『怒る』ではなく)
- 「私の気持ちを伝える『I (アイ) メッセージ』」
- 「相づちをしながら『聴く』」
- 「3S (すごい・さすが・素晴らしい) を使いながら『褒める』」

を心がけましょうということでした。子どもの自己肯定感を高めるために、親としてどう関わっていけばよいか、情報交換しながらみんなで子育てをする社会にしたいですね。